読まれるブログの書き方レポート

ゆとりのある毎日へ

よなみね　えりか

はじめに

初めまして、沖縄在住のよなみねえりかです。
私は6年前、当時のお仕事（コールセンター勤務）や亭主関白な夫から自由になりたい一心で、ブログをはじめました。

ブログを始めた頃は、夫をはじめ両親や義両親にも心配され、私はブログを仕事にするために必死でやっているのにもかかわらず、「ブログは趣味でやってる」と思われていました。

しかしブログを始めて１年後にはブログ収益がパート収益を超え起業し、ブログを始めて3年後には、ブログ運営で培った知識（ライティングやWEbマーケティング・SE0やワードプレス活用）をもとに、ホームページ作成やWEB集客コンサルタントとしてのお仕事もスタートしました。

ブログは家にいたまま、資格や経験がなくても、低資本で、誰でもコツコツできる、身近な“人生を変える方法”のひとつです。

そんな素晴らしいブログですが、本レポートに書かれている内容を理解しないと、ブログを書く時間が非効率的になってしまいます。

ブログで人生を変えてゆとりのある毎日を手に入れる、仲間が欲しいと思い、レポートを執筆するに至りました。
ぜひよろしくお願いいたします。

なぜ、
書いても読まれないのか

毎日ブログを書いても書いても、
・アクセスが増えない
・反応がない
・申し込みが増えない
・結果につながらない
のは、なぜなのでしょうか？

それは**「ただ、書いている」から、というのが、**
最大の原因です。

「ただ、書いている」からブログを書いても読まれないのです。

“ブログを書くといいと言われた、だから書いている。”

その行動力は素晴らしいです^＾

でも、ブログを「ただ、書いている」だけでは、
読まれるようにはなりません。

なぜなら、ブログを読む相手は、忙しいから。
見ず知らずの他人に興味がないから。

そんな相手に
どうやって見ず知らずの人が書いたブログを読んでもらうのか・・・

それには、

① ブログを見つけてもらう
② ブログを読む必要性を感じてもらう
③ ブログを読み進めてもらう
④ そして行動してもらう

この４つのステップが大事になります。

この４つのステップを考えてブログを書くと、
「ブログを書く」という同じ行動でも、
結果が大きく変わってきます。

逆に、ブログを書いても書いても読まれない、
結果につながらない、という方は、

この４つのステップを理解していない、
ということなんです。

それでは、ひとつひとつ解決していきましょう✨

読まれるブログに
必要な要素

それぞれ解説していきます。

① **ブログを見つけてもらう**

→ブログを書いたとしても、
待っているだけでは誰もブログの存在に気付けません。
ブログを書いたら、見つけてもらう必要があります。
見つけてもらう方法として、

・SEO対策をする（検索で見つけてもらう）
・SNSでシェアする（SNSで見つけてもらう）
・他のサイトから来てもらう（ランキングサイトなど）

という方法があります。

② **ブログを読む必要性を感じてもらう**

→ブログを見つけてもらっても、
素通りされてしまっては意味がありません。
見つけてもらったら、
タイトルをクリックしてもらう必要があります。
クリックしてもらうには、

・タイトルの工夫
・ディスクリプションの記載（SEO対策）
・シェアの投稿内容（SNSシェアの場合）

が大事です。

③ **ブログを読み進めてもらう**

→クリックしてもらったら、
今度は読み進めてもらいましょう。
ブログの冒頭で「読みにくそう」「めんどくさそう」と
思われてしまうと、読者はすぐに離脱（ブラウザバック）
してしまいます。
読み進めてもらう方法として、

・書き出しを工夫する
・画像や表や箇条書きを使って読みやすくする
・読み進めたくなる構成で書く
・わかりやすい言葉を使う
・理解しやすい内容にする（見出しを使う）

などが大事になります。

④ **行動してもらう**

→読み進めてもらったら、
最後に行動させましょう！
ブログを読むだけで終わってしまっては、
結果につながりません。
行動してもらうには、

・ブログを書く前に記事の目的を決める
・行動を促す言葉を工夫する
・わかりやすく、簡単なアクションにする

という対策をすることができます。

読み進めてもらえる
ブログを書く方法ー内容編

結果の出るブログの基本的な形としては、
・タイトル
・書き出し
・見出し
・本文
・アクションリンク（CTA）
をうまく使います。

タイトル
→ブログ本文を読むかどうかは
タイトルで判断されます。

書き出し
→本文を下まで読むかどうかは
書き出しで判断されます。

見出し
→じっくり読むかどうかは
見出しで判断されます。

アクションリンク
→行動するかどうかが
決まります。

タイトル
書き出し
見出し
内容
見出し
内容
見出し
内容
アクションリンク（CTA）

読まれるタイトルの付け方

どんなにいい内容を書いても、タイトルで興味を引かないと、
内容を読んでもらえません。
逆にどんな粗悪な内容でも、タイトルで興味を引けると内容が
読まれます。

タイトルは、本文と並んで大事な部分です！

【よくあるダメなタイトルの例】
今日のタご飯
感謝していること
イベント終了！楽しかった！
気づいていますか？
ご報告。
明日は！
♡マカロン♡
ありがとうございました。

ーーーーー

タレントさんや芸能人のブログには多いタイトルですが、
私たち一般人が同じようにタイトルをかくと
誰も読んでくれません。

興味を引くことが大事です！

【良いタイトルの例】

冷蔵庫にあるものだけで作った夕ご飯が大好評！
病院で本当にあったスカッと話
イベント開催の報告と、次回のお知らせ
知らなきゃ損！身近な家電の使い方情報
ジメジメ湿気に悩んでいませんか？３つの解決策
マカロンが美味しい安い！ギフトにおすすめの通販ショップ

ーーーーーー

興味を引くタイトルをつけるだけで、
ブログのアクセス数や反応が大きく違ってきます。

タイトルを決める必須事項

・本文に書いたことがわかる
・読者の“困った”に寄り添っている
・読者の“知りたい”がタイトルに入っている
・（SEO対策する場合）キーワードをいれる
・30文字程度にする

読まれるタイトル例

※はてなブックマークのランキングから抜粋

ワンランク上の勉強法
高卒新人に資産運用を説明する
洪水被害に遭ったらやること
身近な人が亡くなった直後に「やってはいけないこと６選」
１分でわかるアフガニスタンの歴史
普通の人が資産運用で99点を取る方法とその考え方
この英単語を覚えるだけで、英文の９割は読めるようになるという話
上半身ストレッチはイイコトばかり！部位別エクササイズ10選
お酒を飲むとニキビができる？美肌キープのポイント５つ
ニキビがあってもコーヒーはOK!美肌を作るコーヒーの飲み方５つの掟
全ての人が知っておくべき 見やすい資料をつくるための9つの黄金テクニック
転勤族から見た「家を買うときの注意点」まとめ
熟睡必至の３大機能と素材とは？敷きパッドのおすすめの選び方
1人になりたい・・・そんなときの神アイテムをご紹介

タイトルに入れるといいワード

数字・誰が書いたのか（専門性）・誰が読むと役に立つのか
たったひとつの・方法・解決方法・やり方・コツ・ポイント
簡単に・３分で・工夫・手順・裏技・習慣・誰でも・いつでも
初心者用・無料・法則・失敗・違い・比較・秘訣・新常識
時短・必須・圧倒的・〇〇すぎる・理由・まとめ・一覧
〇〇術・まだ○○・○○べき・○○とは？・○○だけ

本文を読んでもらえる
書き出し

タイトルに興味を持ってクリックしてもらっても、
書き出し（文章の初め）で、本文に期待してもらわないと、本文まで読み進めてもらえなくなります。

魅力的な書き出しを書くことで、興味しんしんでブログ本文を読み進めてもらえるようになります。

結果、本文に書かれていることをしっかり理解してもらったり、申し込みやお問合せ・購入などの、目的の行動につながりやすくなります。

書き出しはしっかり考えて、魅力的に書きましょう✨

書き出しを魅力的にするには、テンプレートを使うと書きやすいです。

書き出しテンプレート

1. 読者の悩みを書きだす
2. その悩みの解決策があることを伝える
3. 解決できる理由を伝える
4. 記事の内容を具体的に伝える
5. 記事を読むとどうなるか伝える

実際に、テンプレートに沿って書き出しを書くと、このようになります。

<u>魅力的な書き出しの例</u>

タイトル：独学で英語を学ぶと損する理由
書き出し：「独学で英語を学びたいけどできるかな？」
「出来るだけ安く英語を習得したいな」と思っていませんか？
はい、出来るだけ安く英語を習得する方法があります！
ただ、できるけ安く習得したい場合は、独学をおすすめしません。
なぜなら、独学で学ぶ場合、「安くスタートできる」というメリットよりも、デメリットの方が大きいからです。
この記事では、私自身が独学で大きく損したからこそわかる、、“独学で英語を学ぶ場合の注意点”と、“出来るだけ安く英語を習得する方法”を解説しています。
この記事を読むとことで、損することなく出来るだけ安く、英語を習得することができるようになります。

！書き出しを書く場合の注意点
・長すぎないようにする
・関係ない話はしない
・結論を書く

魅力的な書き出しで、読者にいい状態で本文を読んでもらいましょう✨

読まれるブログの構成

さて、ここからようやく、ブログの本文へ入って行きます。
が！
その前に、構成を考えます。

構成というのは、
「どんな話を、どの順番でするのか」
ということ。

読み進めたくなる構成で書くことで、ブログをしっかり最後まで読んでもらうことができます。

ブログの文章構成もテンプレートがたくさんありますが、
今回は私もよく使う「PREP法」を紹介させていただきます。

「PREP法」とは？
元々スピーチの構成として編み出された、
“人を納得させるための構成”

PREP法を使うことで、
・読み進めたくなる
・理解しやすくある
・納得しやすくなる
→**読んだら行動したくなる**、という心情に持っていくことができます✨

おすすめ文章テンプレート

PREP法の構成

PREP法は、
最初に結論を伝え、
その次の
その結論に至る理由。
そして具体例や具体的な手順。
最後にまた結論を繰り返す、
という構成です。

結論
理由
具体例
まとめ

PREP法での具体例

結論	体調を整えたい時にカラーセラピーはおすすめ
理由	カラーセラピーは色彩療法ともいい、目に見えないがサプリメントのような
具体例	実際に夏バテの時にカラーセラピーを受けたら、だるさが軽くなった驚いた。
まとめ	だから、体調が悪い時にはカラーセラピーがおすすめです。

行動してもらえるCTA（アクションリンク）とは

あなたがブログを書く目的はなんですか？

「申し込みをして欲しい」
「問い合わせをして欲しい」
「公式ラインへ登録をして欲しい」
「メルマガに登録をして欲しい」
「購入して欲しい」

ブログを書く目的は、それぞれあると思います。

そして、その目的をしっかりと記事の終わりの部分においておかないと、読者はブログを読んだだけで満足して離脱してしまうことになります。

ブログを結果につなげるために、記事の終わりにはアクションリンク（CTA）を必ず用意しましょう。

※CTAとは？
CTAとは「Call To Action」の略。
日本語では「行動喚起」という意味です。

ポイント①

ライン・メルマガに登録して欲しい場合、
ラインやメルマガに登録するとどんないいことがあるのか説明した上で、すぐに下に登録リンクをおきます。

ポイント②

CTAは１つが好ましいです。
購入ボタンにお問合せボタンに公式ライン登録ボタンなど、
あれこれありすぎると逆に行動しなくなります。

ポイント③

「ご購入はこちら」よりも、「詳細はこちら」。
「お申込はこちら」よりも、「日程確認はこちら」
の方が、クリックしやすい場合もあるので、文言を工夫しよう。

ポイント④

「ご登録は１クリック！」「無料の特典プレゼント」
「カンタン３ステップでお申込み」など、
簡単だよ、というのをアピールする。

ポイント⑤

「ダウンロード」より、「資料を手に入れる」
「Click」より、「詳しくはこちら」など、
英語より日本語で、より具体的に書く。

SEO対策をしよう

SEO対策とは、検索でブログを見つけてもらうための対策のこと。記事をかけたら、記事を見つけてもらうためにSEO対策をします。

とは言っても！

本来のSEO対策は、そもそも記事を書く前から仕込むのが普通。

なので、記事を書いた後のSEO対策は、かなり簡易的な物になります。

ただ、記事の書いた後のSEO対策でもやらないよりはやった方が断然良いのと、「記事を自由に書きやすい」というメリットがあるので、

当レポートでは『記事を書いた後のSEO対策』を紹介させていただきます。

一般的なSEO対策の流れ

記事を書いた後のSEO対策は、簡易的なもので、
本来は記事を書く前から仕込んでおくものだ、
ということを説明しました。

なので、補足として「一般的なSEO対策の流れ」を紹介します

①キーワードを調べる
②関連キーワードを調べる
③検索ボリュームや検索意図、ライバルチェックをして、対策するキーワードを決める
④検索意図から本文の構成を決める
⑤見出しを入れる
⑥本文を書く
⑦画像にaltタグを入れる
⑧タイトルを決める
⑨ディスクリプションを入力する
⑩公開する

このように、本格的にSEO対策をする場合は、ブログ本文の構成を決める手順④の段階までに、色々やることがあります。
ここまでしっかりすると上位表示は確実にできますが、ブログを書くハードルが高くなる懸念もあります。

記事を書いた後のSEO対策（簡易バージョン）

本文、書き出しを書いて、最後にタイトルを決める段階で対策をしていきます。

①ブログを読んで「誰得」か考える
②その人が困っている時や情報が知りたいと思った時、どんな言葉で検索するか考える（２単語もしくは３単語）
③実際に検索してみて、単語を揃える（漢字か平仮名かカタカナか、など）
④そのキーワードを使ってタイトルを書く
⑤ブログ本文全体に、そのキーワードを散りばめる（見出しや本文へ）、意味が変にならないように調整する。

この方法で、簡易的にSEO対策が可能です。

ただ、SEO対策はこういった「作業的」なものではなく、
検索するユーザーにとって役立つ情報をブログに書く、というのが、本質です。

パソコンの向こうに「人」がいるということを忘れないように、キーワードや裏技的なものに振り回されないようにすることも大事なことです。

SNSへブログをシェアする

書いたブログ記事を見つけてもらう方法として、SEO対策以外にSNSでシェアするという方法があります。

シェアするといっても、投稿にURLを貼っただけでは素通りされてしまいます。

シェアする際に一言付け加えてURLを添付することで、SNSからも読者を呼び込むことができるようになります。

シェアする際に付け加える一言は、
書き出しの中から言葉を選んで添えます。

ただし、SNSは基本的にユーザー同士の交流の場。

ブログのシェアばかりしてユーザー同士の交流がないと、投稿すら見てもらえなくなってしまいます。

ブログのシェアをする目的でSNSを利用する場合も、たまにはブログと関係ない投稿をしてみたり、他のユーザーの投稿にリアクションしてみたり、

あなた自身がSNSを楽しむことが大切になってきます。

「リライト」は最大の武器

ブログを書いたら、書きっぱなしになっていませんか？

ブログを書いた後、修正・追加をすることを、「リライト」といいます。

実はリライトをすると、読まれないかったブログが読まれるようになったり、読まれていたブログがもっと読まれるようになったり、ブログからの成果が大きくなったりします。

だからといって、どんな記事でもリライトしていいかというと、そうゆうことではありません。

リライトも目的を持ってやっていく作業なので、
目的とあった記事を、目的に沿ってリライトしていきます。

リライトの目的①　アクセス数を増やす
すでにアクセスがある記事を見つけて、そのアクセスを増やすためのリライトをします。

その記事のアクセス元が検索流入（SEO）だった場合は、どのキーワードからのアクセスなのか？
そのキーワードで何位なのか？クリック率はいいか？を確認します。

SEOで順位が１位以下であれば、１位を目指してリライト。

クリック率が悪い場合は、タイトルを変えて様子を見ます。

リライトの目的②　コンバージョンを増やす

コンバージョンとは成果こと。
ブログを書く目的そのものになります。

例えば、申し込みをもっと増やしたい、メルマガ読者を増やしたい、もっと購入して欲しいと思った場合、
増やすためのリライトをします。

お申込みや購入を増やすには、
ボタンの文言を変えたり位置を変えたりするのが一般的。

それに加えて、「お申込みや購入に躊躇する方がいる」というのはつまり、不安を解消する内容がブログの中にないということなので、「申込・購入に躊躇する理由」を先回りして考えて、ブログの内容に追加することで、コンバージョンを増やすことができます。

リライトの目的③　最新の内容にする

Googleは、古い情報が掲載されたままになっているサイトを嫌います。
なので、古い情報が書かれているブログ記事は、積極的にリライトして最新の情報に入れ替えていきましょう。
それだけで実はSEO対策にもなります。

さいごに

ということで、読まれるブログの書き方をレポートさせていただきました。

「書き方」というテーマで、
テクニック的なことをメインにしたレポートですが、
実はテクニックより大事なことが
「読者を思いやる」ということです。

パソコンに向かってブログを書くのでイメージしづらいですが、実際にあなたが書いた文章を読むのはスマホの向こうにいる「人」です。

その人が、どんな状況でどんなことを想いどんなことを知りたくて、ブログを読んでいるのか。
そこを想像して書くことができれば、ブログの結果は自ずとついてきます✨

ブログであなたのことを発信して、
それが必要な人へ届き、読まれて、
読者とあなたがより豊かになりますように✨

ずぼらイズWEBオフィスのサポートについて

ずぼらイズWEBオフィスでは、
「優しさと幸せあふれる社会の実現のために、心にゆとりのある人を増やしたい」
というコンセプトで、
デジタルが苦手な方向けにWEBのサポートを行っております。

ワードプレスでブログを始めたい方向けの
ワードプレススタート講座

デジタルが苦手な起業家向け
ホームページ作成付きのWEB運用教室

フリーのワードプレスサポート
※ブログコンサル・アフィリエイトや
WEB集客相談もできます。

その他、メルマガでは定期的にブログ運用やWEB運用に役立つノウハウを配信中！
公式ラインではお気軽にご相談いただけます♪